

© **AAF** 知性あふれるレクリエーションを。 Art & Architect Festa
NPO/AAF Art&Architect Festa 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ ウェブ www.aaf.ac Eメール info@aaf.ac

1

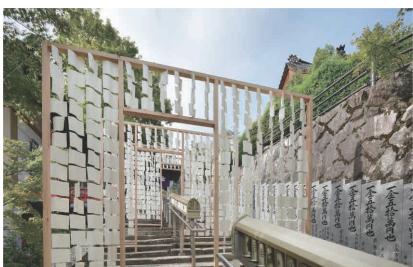
全国の大学生たちが小さな建築空間を日本の聖地に実現する 建築学生ワークショップ



「最優秀作品（宮島 2022）」



合宿にて制作に挑み、
建築のプロセスを体験する、
地域滞在型の
サマーワークショップ



「優秀作品（宮島 2022）」



2022年 593年海浜に社殿を創建したことに始まり、1168年平清盛により寝殿造りの大規模な社殿が整えられた聖地にて、「大鳥居 令和の大改修の年」に宮島・嚴島神社と共に開催



2010年「平城遷都1300年祭」の事業として、世界文化遺産（考古遺跡としては日本初）にも指定されている奈良・平城宮跡で開催



2011年 滋賀・琵琶湖に浮かぶ「神の棲む島」竹生島（名勝史跡）にて 宝厳寺と都久夫須麻神社と共に開催



2015年 開創法会1200年となる100年に1度の年に、和歌山・高野山・金剛峯寺（世界文化遺産）と共に開催



2016年 国営飛鳥歴史公園の開園プレイベントとして、奈良明日香・キトラ古墳にて明日香村と共に開催



2017年「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録された、天台宗總本山比叡山にて延暦寺と共に開催



2018年わが国を代表する神聖な「こころの故郷」、伊勢神宮周辺区域にて「皇位継承、平成最後の夏」に神宮司廳と共に開催



2019年 古代より受け継がれてきた「むすび」の御靈力を司られる神聖な場所、出雲大社と共に「平成の大遷宮」完遂の年に開催



2020年 平成元年国内初の「プリツカー賞受賞式」が行われた建築の聖地において、約30年を経て、東大寺と共に開催



2021年 鎮座百年を迎られ、本殿以下36棟が重要文化財に指定された聖地に於いて、明治神宮と共に開催

予定開催地（候補地） 2023年 仁和寺（京都） 2024年 醍醐寺（京都） 2025年 万博会場（大阪） 2026年 法隆寺（奈良）
毎回 参加学生数 60名（公募により選出） | 開催時期 夏開催 | アドバイザー：地元伝統技術者、組織設計事務所、ゼネコン、建築エンジニアリング企業他 | 公開プレゼンテーション開催日 参加数 300名（2022年開催実績）

2 建築家への登竜門

35歳以下の若手建築家による建築の展覧会

若手建築家を
公募による審査で選出
大阪駅前・うめきた
シップホールにて
毎秋に開催



2010年開催の様子 (2010年9月29日-10月11日)



2011年開催の様子 (2011年9月9日-10月10日)



2012年開催の様子 (2012年9月7日-10月6日)



2013年開催の様子 (2013年9月5日-10月5日)



2014年開催の様子 (2014年9月4日-10月4日)



2015年開催の様子 (2015年10月16日-31日)



2016年開催の様子 (2016年10月14日-30日)



2017年開催の様子 (2017年10月20日-30日)



2018年開催の様子 (2018年10月19日-29日)



2019年開催の様子 (2019年10月18日-28日)



2020年開催の様子 (2020年10月16日-26日)



2021年開催の様子 (2021年10月25日-25日)

過去の出展者



2010-11出展者
大西麻貴



2017-18出展者
三井嶺



2020出展者
山田紗子

2022年開催の様子 (2022年9月30日-10月10日)

10月8日シンポジウムⅡの様子



10月1日開催のシンポジウムⅠの様子



展覧会会場の様子



Ibuningu Rekチャーの様子



会場内のギャラリートークの様子



会場内のギャラリーイベントの様子

11日間の開催期間中、来場者数 1日平均 903名 期間中 9,936名 (2022年開催実績)

3 世界で活躍する建築家が登壇 建築レクチュアシリーズ 217



どんな少年・少女時代でしたか?
how did you spend your childhood years?



「2016年7月8日 ゲスト建築家:SANAA」



「2021年11月19日 ゲスト建築家:安藤忠雄」



「2022年9月30日 ゲスト建築家:藤本壯介」

2019年平均入場者数 459名(実数・関係者含む)

実績比率 (アトリエ・組織設計事務所 35% | ゼネコン・ハウスメーカー・インテリア関係 28% | 官公庁団体・大学学校関係者 22% | 一般その他 15%)

4 6つの分野のクリエイターが登壇 A レク



美術家 名和晃平



ファッションデザイナー 森永邦彦



グラフィックデザイナー 原研哉



クリエイティブディレクター 佐藤可士和



建築家 田根剛



構造家 稲山正弘



設立1周年記念イベントとして発足した「dレク」は、「A レク」と名称変更し、6つのカテゴリーから主要なクリエーターの方たちを、毎年・春に開催する連続トークイベント。建築やデザインに触れる「小さくて身近」な「交流や集会の場」となることを目指していきます。



2022年1月25日
ゲスト: ファッションデザイナー 熊切秀典 開催の様子



2016年2月4日
ゲスト: 建築家 石上純也 開催の様子

5 ディナーを楽しみながら 90 minutes



「2016年7月14日 開催の様子」



THE DINER OF ARCHITECTURE

このレクチュアシリーズは、現在活躍をされている建築家や、建築に興味を持たれる方たちに、食事を楽しんでいただきながらの和やかな雰囲気の中、モデレーターがゲスト建築家のオリジナリティを引き出し、参加者と一緒につくっていくような建築家や建築関係者の交歓の場を目指すのと同時に、関西で発信する建築の活動がさらに盛んになることを期待して取り組んでいくことを意図しています。

年4回、午後7時から、活動をはじめたばかりの若手建築家の最新プロジェクトや、処女作となった作品の手法やアプローチ、これから建築への想いをお聞きします。

レストランでの開催から、食事を楽しんでいただきながらの和やかな雰囲気の中、モデレーターがゲスト建築家のオリジナリティを引き出し、参加者と一緒につくっていくような建築家や建築関係者の交歓の場を目指すのと同時に、関西で発信する建築の活動がさらに盛んになることを期待して取り組んでいくことを意図しています。

知力が集まるレクリエーションを起こすことから始めています

Starting from setting up recreation to collect brightest intellects

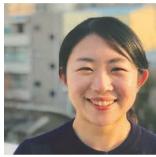
Q. AAF の活動からどんな影響を受けましたか？



AAF 第 8-13 期運営スタッフ

宮本勇哉(みやもと・ゆうや)(神戸芸術工科大学修士 1 年)

建築を基盤として芸術、美術、デザインなどの文化価値を伝え生み出す側として体験できる機会を得られることだと思います。各事業には始点となった目的があり、今まで執り行われてきた経緯があります。活動を通じて、第一線で活躍される建築家の方々や全国の共に建築を志す学生と交流を深め、その中で現在何が求められ、また求められるようになっていくのか、その想像力を磨く見聞を広げられる開催を併走して行えることは、学生の枠組みでは味わえない魅力です。



AAF 第 8-13 期運営スタッフ

小川さやか(おがわ・さやか)(武庫川女子大学修士 2 年)

芸術、建築、環境、社会といった様々な境界を越え、世の中をもっと良く、面白くするような提案をする力が大切なだと気付きました。AAF の事業は今まさに社会にそういう提案をしている方々のことを知ることができる場なのだと思います。一方で事業を運営する側に立ち、価値のある提案をすることがどれほど難しい事かということも学びました。今の時代を創造している方々の存在を感じつつ、自分も社会に良い提案が出来るように意識するようになっています。



AAF 第 11-13 期運営スタッフ

吉田雅大(よしだ・まさお)(近畿大学 3 年)

社会で活躍されている建築家の先生方を始め、多くの人々に支えながら建築を学び、議論する場を作り上げていく過程に携わることができます。大学という環境とは別に、建築を志す同年代と仲間と一緒に活動することで、異なる視野や価値観を共有し、自身の成長にも繋がっています。



AAF 第 8-13 期運営スタッフ

池田怜(いけだ・れい)(武庫川女子大学修士 2 年)

実際に建築の分野で活躍されている方の考えを身近に感じることができます。また運営に関わることで、学生生活ではできない貴重な経験をすることができ、とてもやりがいを感じています。そして自発的に行行動することで、あらゆる可能性が広がっていくということを学びました。



AAF 第 11-13 期運営スタッフ

杉田美咲(すぎた・みさき)(畿央大学 3 年)

運営を通して、実際に建築を生業にしている方々の様々な人生を拝見することで建築に対する多様な考え方を学び、物事に対して違った角度の目線を持つことに気が付きました。私にとって AAF に参加する時間は自分の「好き」を熟考する時間あり、自身の苦手を自覚し成長していく場であると感じています。純粋に建築に憧れ、好きなことで生きていける人たちを身近に感じる貴重な経験をさせて頂き、目標を見つけることができました。

Q. AAF の活動の魅力は何ですか？



AAF 第 9-13 期運営スタッフ

山本康揮(やまもと・こうき)(大阪工業大学修士 2 年)

さまざまな事業に参加し、それらを通して人と社会のつながりを感じています。一人ではできないことを、コラボレーションし実現させていく集積の結果が各事業として実っており、運営を通して、コトの成り立ちを知り、コトを継続するための思考を繰り返す体験が、リアルな社会性を学ぶ環境をつくっています。建築が作る物事のコトの側面を学びながら他分野へと越境していくことで、大学とは異なる価値を学ぶことができる、他ではできない体験ができることが魅力です。

法人概要

特定非営利活動法人（NPO 法人）アートアンドアーキテクツフェスタ（日本語表記）
Art & Architect Festa（英語表記）
AAF（エーエーフ）（略称）

〒550-0015 大阪市西区南堀江 2 丁目 9-14
電話 06-4390-7055 フaxシリ 06-4390-7056
E ページ info@aaf.ac ウェブページ www.aaf.ac

創業 2009 年 6 月 4 日 法人認定設立 2010 年 6 月 4 日
許可番号特定非営利活動法人設立認証（京都）2 府推第 5 号の 54
特定非営利活動法人定款変更認証（大阪）指令市民第 1284 号

（目的及び事業）

この法人は、芸術及び建築文化の振興に関する事業を行い、それぞれの地域における芸術、デザイン創作活動の支援、及び建築家や美術作家の人材育成を図り、社会における芸術及び建築文化の発展と普及に寄与することを目的とします。この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行います。

- (1) 建築、芸術、デザイン教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりや保存の推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- (4) 国際協力の社会的な活動
- (5) 前各号に掲げる活動を行う団体の企画運営又は活動に関する連絡、助言又は支援により援助の活動

この法人は、上記の目的を達成するため、次の事業を行います。（特定非営利活動に係る事業）
以下は、建築及び芸術、デザインに関連する事業を原則とする。

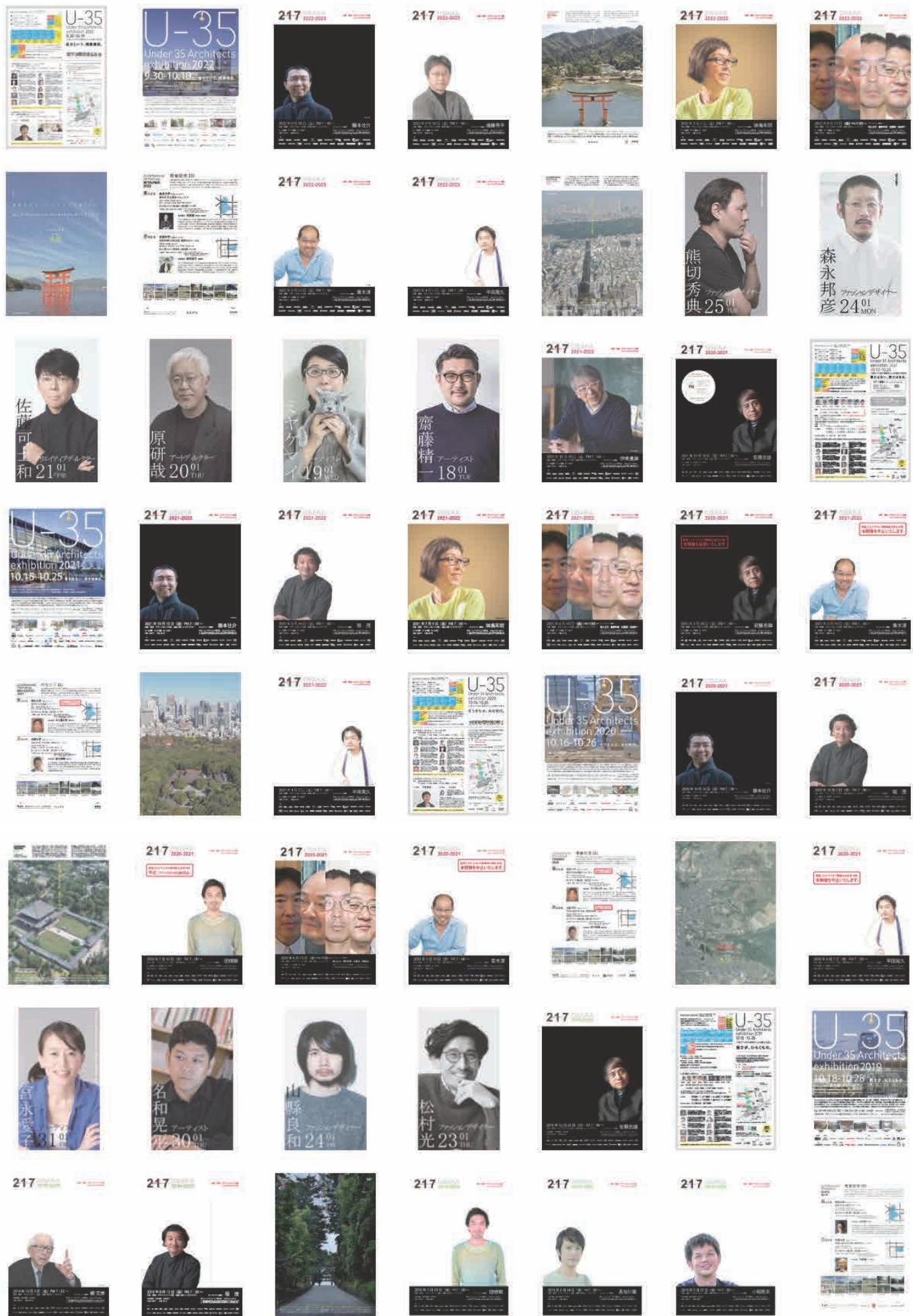
ワークショップ事業、企画展覽会事業、フォーラム事業、コーディネート事業、コンペティション開催事業、地域再生、並びに保存事業、国際交流事業、情報収集・発信・調査研究事業、建築家・芸術家、デザイナーの創作活動の支援、国内外の建築家・芸術家の発表機会の提供、文化を社会へ繋ぐ各種アクトリーチ活動、都市計画・地域計画、企画及びプロデュース・計画立案・策定調査、博覧会・イベントの企画、コンサルタント事業、その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

役員一覧

（2023 年 1 月 1 日現在）

特定非営利活動法人アートアンドアーキテクツフェスタ
NPO/AAF 役員一覧

代表理事	平沼孝啓	建築家	平沼孝啓建築研究所
副代表理事	藤本壯介	建築家	藤本壯介建築設計事務所
名誉理事	伊東豊雄	建築家	伊東豊雄建築設計事務所
名誉副理事	建畠哲	美術評論家	多摩美術大学 学長
	南條史生	美術評論家	森美術館 特別顧問
名誉顧問	太田伸之	実業家	日本ファンションウイーク推進機構・実行委員長
理事	五十嵐太郎	建築批評家	東北大学 教授
	稲山正弘	構造家	東京大学 教授
	腰原幹雄	構造家	東京大学 教授
	佐藤淳	構造家	東京大学 准教授
	陶器浩一	構造家	滋賀県立大学 教授
幹事	佐野吉彦	代表取締役社長	安井建築設計事務所
	千鳥義典	代表取締役会長	日本設計
監事	本多友常	建築家	和歌山大学 名誉教授
	横山俊祐	建築家	大阪公立大学 客員教授
	平田晃久	建築家	京都大学 教授
	吉村靖孝	建築家	早稲田大学 教授



AAF の活動の一部 2022 年 12 月現在